夕刊
磐城新聞
四月二十三日發行
定價 一ケ月金六拾五錢
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八〇五・五六五番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩も明日も北東の風曇小雨

時は過ぎ行く
仙台に在りし頃
赤井嶽夫

明治四十三年の晩秋から翌くる年の正、二月頃へかけて——その頃仙台には二高の學生であつた寺亀の六ちやんと木屋の文ちやん、、軍隊には水戸屋の國ちやん江戸屋の進平ちやん、そして自分は總て緣遡に當るY君も一人交友關係は餘り深くなかつたが旅屋の久吉君など同郷の誰彼が居る處へ、大學卒業間際の佐波古の直ちやんが一介の輜重輸卒として遣つて來たから、税務署の森辨と云ふそれ等の人達とは畑違ひの自分を加へての湯本組は十八近の可なり賑かなものであつた

×

入營前夜に於ける國の兵隊の宿舍だと聞き込んで五城倶樂部へ行つて見ると當時醫專に通つてゐた市原陸郎さんが、餘興番組の貼り出しに健筆を揮つてゐた。同じ醫專生徒の菱谷忠衛さんも居つた事でもらうがはつきり記憶して居らぬ。ひどい雪の晩であつたがその晩ガヤ／＼喋舌つてゐる明日からの新兵さんに交つて自分に『イヨー』と聲を掛けて呉れた角帽の人が直ちやんであつた

×

之等の顔ぶれが豫の打合せで置いて汁粉屋に樂しい日曜を寢そべりながら語り合つた事もあつ。語らぬ下宿住ひの退くつ紛らしに自分は良くそれらの人の宿に遊びに行つた。平時より遅れて下宿へ歸ると自分の室の障子に落花豆でも食べてる樣な六ちやんと文ちやんの顔が薄暗い灯かげに黒くシルエットされてゐたのは今尚ほ懐しい憶ひ出である

×

今の廣島市山陽醫院長である直ちやんの佐波古直憲博士、先頃迄滿鐵地質調査所を牛耳つてゐて最近北支某方面に移つた六ちやんの木村六郎理學士、遂い近頃迄滿中に居り今は石巻各中等學校の配屬將校たる比佐國ゑ大尉の國ちやん等、等何れも健在たる中に往年の木屋の文ちやん辯護士法學士仲里文平君とその後朝鮮の守備隊に勤務中土匪の流彈に不測の死を遂げた江戸屋の進平ちやん溫厚の久保木氏を數へられぬ事が殘念である

4月23日

△英詩聖沙翁歿（一、六一六）△最初の外債募集（明治三）△内閣に臨時物價對策委員會設置決定△東京市電爭議怠業に入る（昭和一二）

その日／＼

○ほてり上がる春のちまたをくれなゐの帽子を被りゆく子供見ゆ　阿佐緒

清水先生十回祥辰　珠雲　小野務平

同願十歲涙垂頰
顧我無爲白髮新
宰記先生平昔戒
專精只合作良民

平局俳黎會　一人一句集

○囀りや山ふところに寄る家　土田華岳
○傘さして戻る闇路や梅匂ふ　本間黙子
○そこはかと香る雨夜の丁字かな　國玉碧笑
○ピクニック母はほゝ笑むばかりにて　殿木麗月

戰地の友に（上）
加藤文輝

山邊君。もう戰地にはすつかり慣れてしまつたらうね。[illegible]の人の[illegible]浮べるたびに、滿洲事變の當時、青島でおくつた數ケ月の記憶が、まざまざとよみがへつて來る。あの時位祖國日本といふものを感じたことはなかつた。あの時故郷のたよりが聞きたかつた事もなかつた

×

山邊君幸ひ。故國日本は現在このまゝ狀態にあるよ。君達の奮鬪のおかげで、どこで戰爭があるのかと思ふ具合に國内は平和だが、戰爭に對する緊張がないといふわけぢやあない。いやそれはあり過ぎる位あるんだ。

この間、ある用件で信州の蓼科へいつた時のことだ山巓の雪に冴れた信濃連山をのぞみながら、草丘と落葉松林の中につづく蓼科高原の新裝徑をのぼつてゆくと、荒くれ石に車輪をキシキシきしませて降りてくる奇妙な車の一隊に出合つた。その車は、何と形容してよいやら。丁度箱橇を大きくしたものに手製らしいよこつな輪をつけたものだ。ふの上へ搖れ落ちるまで刈草を満載して、かるさん姿の女ばかりで牽いてゐるの

講談
隱密小天狗（おんみつこてんぐ）(4)
中川雨之助氏作　近藤鐵氏畫

謎の正雪

『さうだ。わしの眼に狂ひが無いか、どうか？あの正雪といふ男は、果して何か大事をたくらんで居る者かどうか？それを探つて貰ひたい』

『なか／＼の大役でございますなしか愉快です』

『大役だ！しかし、おまへの腕前なら、おまへの魂なら、きつと行り遂げるだらう——』

『そのお言葉だけで滿足でございます。數ならぬ私を左ほどまで御信任くださいました——』

俊作の眼に、人生意氣に感ず、といつたような煌めきが見えた。

『我々以外、無論嚴重祕密な』

『はツ、心得ました』

『おまへに、妹があつたのう』

『はい、駒路と申しまして今年十八の不束者で——』

『妹には、覺られてならぬ』

『——妹にも——』

肉親といつたら、此世にタツタ二人きりの兄妹。その妹を欺くのは、さすがに苦しい俊作であつた。

『總じては、おまへの考へに委す。わしは、彼是指圖がましい——とを言ひ度くない。正雪といふ男の正體を掴むとか、一日も早ければ、ただそれで宜いのだ』

と云つて伊豆守は傍らの、手文庫から金子百兩を取出した。

『世間の眼を晦ますために金子入用なら幾らでも遣はす。これは當座の小遣ひだ』

金！

なんだか、汚ないやうな恐ろしい物のやうな氣がして俊作、ちよつと手が出なかつた。

伊豆守が、謎の男由比正雪に懐疑の目を向け初めたのは、昨日や今日のことではない。

牛込榎町に、張孔堂由比民部之助正雪と名乘つて、軍學兵法の道場を開き、文武に『軍學兵法十能六藝師範』といふどえらい看板を掲げたといふ話を聞いた時には、『例の山師だらう』と、一笑に付してゐたのであつた。

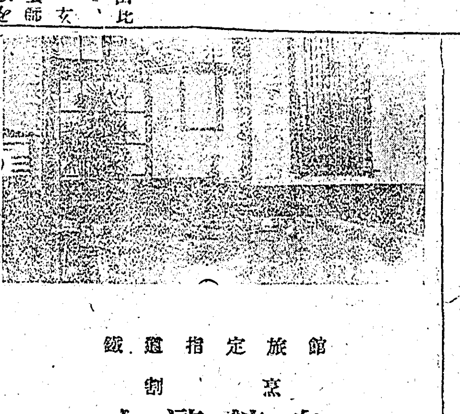
ところがその後。正雪に對する世間の評判が非常に宜い、大名、旗本、浪人の入門も引切らず、道場は非常な繁昌であると聞いて伊豆守『はてな』と、小首を傾けた。

徳川幕府は、當時、最も厄介者、最も頭痛のたねとして浪人を怖れてゐた。扶持に離れ、食ふに困つて、働かうと思つても働き口が無い。貧乏をする、飢じくなる。その苦しみを餘所に、世間の人々が面白く暮し、居るのを見て腹が立つ、不平が起きる、僻み根性が出る、氣が荒くなる。誰を促まへても喧嘩がしてみたくなる。其の浪人根性を付け込み、巧く煽てるものがあるとたまつとまかせて、その煽動に乗る。斯うなると始末にいけない。煽動者のうちわの振り次第で、もとより何を行り出すかわからん。萬一、豊臣の殘黨などが入り込んで、『徳川幕府なんか叩き潰して、われ／＼の力で、新しい世の中を拵らへろ』とでも吹き込んだら、命知らず、命有かしの連中と忽ち騒ぎ出すに決まつて居る。

『浪人恐怖病』。そんな考へをもいふべき、幕府の重臣の誰も彼もが皆持つてゐた。中でも老中筆頭松平伊豆守は、最も神經を尖らしてゐた。その尖つて神經へ、ぴ可りと觸れたのが由比正雪であつた。

和洋家具建具　テーブル　椅子
其他裝飾品一般
御用命は迅速に御勤め致します。

諸官衙學校御用達
製作販賣
平市五丁目四
片寄製作店
片寄小彌太　電話四八四番
十五、六歳以上の見習徒弟募集
御希望の方は至急申込下さい。


鐵道指定旅館
割烹
小瀧鑛泉
電話小名濱一〇三

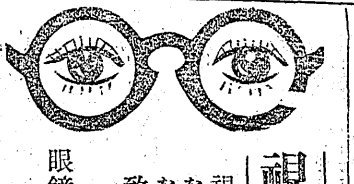
平市二丁目
あまと自動車商會
電話六四〇番

小店員募集
年令十四五才ノ（委細御面談下さい）
精幸堂 高橋時計店
茨城縣助川町

獨特の珈琲とWINE
紳士の喫茶店
グリルバッカス
サービス料一割（外拜辭）
平市銀座通り TEL七〇二
女店員募集
年齢十七才位より廿五才位まで
月給四拾圓以上支給
給漸次昇給
待遇衣裳貸與食
何の氣苦勞もなく朗に働ける固定給料です
眞面目に働きたい方從順な生活を望まれる方は至急御出下さい
懇切に御指導致します

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六
鑑定項目
名前のみで一代の運命……何んでもわかる……
體力　肉体　疾病（健康、不健康、相貌）（病根病勢　病名）に關する一切
活動　職業　天運（適業、不適業）（天運、不成功、炎厄）に關する一切
血縁　家族運　男女縁（父母の縁、夫婦の縁　子供有無）（氣質、相性、相尅　婚期方位）に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

外務員募集
奮闘ノ士ヲ望ム
成功、收入の早道
千代田生命保險相互會社
平出張所二丁目（二十五番地）
鈴木勇


視力保全運動
視力異狀に早期檢眼明快な、視力能率增進、正確な眼鏡により視力を保全致しませう。
各眼科御用
眼鏡專門 玉屋眼鏡店
平市二丁目

入學生募集人員
本科（修業年限二ケ年）五〇名
技藝科（修業年限二ケ年）五〇名
專攻科（修業年限一ケ年）二〇名
各科二年補缺入學生　若干名
課外教授
本校生徒ハ希望ニ依リ左記科目ノ習得ガ出來マス
タイプライター　將來職業婦人タラントスルモノ
琴、生花　家庭婦人トシテノ準備
ピアノ　音樂研究ヲ志スモノ
洋裁　洋服裁縫ヲ研究セントスルモノ
『タイプライター』修得者ハ本校ニ於テ就職ヲ斡旋致シマス
文部大臣認可
平市揚土小路二十番地
平陽女學校
電話四四五番　振替口座仙臺五六八二番

男女學生服特賣
高島屋の洋服
新柄背廣　レンコート
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

生徒募集
ミシン科　刺繍科　洋裁科　研究科生徒
毎月入學（一日、十五日）規則書進呈
平市田町 シンガー洋裁女學院
シンガーミシン　新品中古　現金月賦大販賣
カタログ進呈
平市田町
シンガミシン會社支店

晝夜診療
外科一般　内臓外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
〔血液檢査毎日〕イツデモ入院デキマス。
平市新川町〔電四六四〕
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

磐城の御みやげ品
名物 靈峰羊羹（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豊間……辨天羊羹
◎各種一本十錢
製造發賣元
小川郷驛前
平屋賣店

病室増築、手術室完備
産科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
往診隨時
平市新川町「電話三六九番」

増配の必然を豫告
＝昨今の石炭需要激増＝
近來稀な全面的明朗色

燃料報國 如實に反映

全山を歡樂の坩堝化する各炭礦恒例の山神祭も今年は、熾烈な銃後の燃料報國意識から、從來とは些か趣を異にし時局を辨へぬお祭り騷ぎを避けて十六日の宵祭りには平常通に操業したなど終始緊張を失はなかつた爲昨今の急需にも事欠かず、十七、十八日の山神祭典が介在した去る十一日以降二十日迄の送炭量に次の如き增加を見せてゐる、卽ち中旬の發送高を見ると

事業用五、八六七車六九、六八八廸 鐵道用一、一七〇車一四、四五一廸 合計七、〇三七車八四、一三九廸

で前年同期に比し

事業用二、二七五車二四、四二二廸 鐵道用二一七車一、六六七廸 合計二、四九二車二六、一八九廸

の全面的增加を見せ前、中旬を通算すると四千二十七車四萬千百廸の激增で彼此來るべき必然の增配を豫告してゐるものの如くである

除隊兵に職業を
和田學務部長を迎へ 求人側と連絡協議

第一線から歸つた兵隊さんの就職斡旋については紹介所でも優先權を與へてその勞苦に酬いてゐるが愈よ積極的にこれが斡旋に乘り出し縣主催の下にこの二十八日午前九時平市會議事堂に三大炭礦其他求人關係者五十餘名を招いて今後の連絡斡旋につき懇談することゝなつたがこれには縣から和田學務部長、岩瀨社會課長、渡邊主事が臨席する

酒商組合結成
廿五日創立總會

平市並に郡下の酒類商約二千名で『石城酒類商組合』を結成、二十五日午前十時から市內聚樂館に創立總會を開き規約制定 役員選擧 免許申告證明の手續を附議する

法律の改正に伴ひ營業者は今後政府の免許が必要で來る三十日迄申告しないものは五百圓以下の罰金に處されることになつてゐる

縣下組頭大會

本署管內二十一名の消防組頭は來月三日飯坂小學校に開かれる縣下組頭大會に出席のため前日二日午前八時二十分平發で出發する、宿舍は飯坂町稲荷屋旅館である

米價保合ひ

石城販賣の俵米定期共販は昨二十一日行つたが出荷千百六十三俵、相場左の如く前回とほゞ保合ひ

平一二、七九 草野一二、七一 勿來一二、七二 鹿島一二、七四 大野一二、七五 同二號一二、七六 平窪一二、六八 渡邊一二、七七 神谷一二、六八 高久一二、七六 飯野一二、八三 夏井一二、六八 小川一二、八〇

銀行組合大祭臨休

石城銀行組合では來る二十六日靖國神社臨時大祭當日、敬意を表し臨時休業すると

あゝ姿なき凱旋
安孫子中尉ら故山へ

江南の戰野に護國の鬼と化した○○部隊の英魂五百柱と前後して凱旋する郷土各部隊の戰死諸勇士の遺骨名は此程發表されたがうち地方關係のものは左の如し

△豊間村特二遠藤清一△小名濱町輜特小野征雄△神谷村輜上鈴木久義△貝泊村同芳賀義一△勿來町伍長酒井健一郎△上小川村同佐藤勝五郎△川部村軍曹薗部敬助△好間村衛少尉小野好安△下小川村上等兵鈴木一生△好間村上等兵清野卯吉△同村同松井銀次郎△同村中尉安孫子幸一

希望數の一割內外か
＝豫想さるる賣買價格の奔騰＝
平局の電話抽籤近づく

平局に於ける今年度の架設電話抽籤は愈よ近く行はれ申請百七十三口に對し僅か一割前後位に過ぎぬ幾口かが當籤決定されるものと觀られてゐる。一体今年の申込は事業開始以來の最高記錄を傳へられ而も此の勢は大都市程甚しく例へば東京では七千六百個の豫定に對し二十六萬個の申込みがあり大阪でも五千六百個の處へ約十七萬五千個と云ふ供給に三十倍する需要でそのうち特殊のものを除けば一般民衆の需要は僅かに四五十分の一しか滿される機會が無く此の場合電話飢饉の形容も決して誇張でない。需要多くて供給が少ければ値だんだん騰ると云ふ經濟常則の必然から、平市の電話も近來頓に値が良くなつたが其れでも容易に手放すものがない有樣で、之の趨向を見越した一部では架設後一年間は移動出來ぬ事になつてゐるに拘らず將來讓渡の利鞘を當て込んでの申込みも絶無では無いらしく前記一年据え置きの制限が無かつたならその申請が如何に多數に上るかは蓋し想ひ半ばに過ぐるものがある斯うした事情で平市の電話は今後益々値上りを續くるであらう事は極めて賭易き道理で、現在の經營に根本的大手術を要する官業電話を目し、官業の弊の典型的實例であると極論するものあるも故無しとしない

救護者調査
醫療費半減さる

本年度恩賜財團濟生會委託醫療救護事業は昨年度ゝ同樣巡回診療委託診療等を實施することゝなつたが醫療費の配當は昨年に比し約半減され巡回診療も三回のところを一班に減じられたので平市では右によつて貧困者の調査を行ふことゝなり今二十二日市內各區長に名簿調製方を依頼した、該當者は四月一日現在で調製今月二十八日迄に取纏めることになつてゐる

勇士の温情

磐炭平發電所賣店經營者小野寺キソさんは目下第一線に活躍中の夫治雄氏から『市役所より頂いた見舞金は自分らより困つてゐる出征兵の遺家族があると思ふからそれらの人々にやるやう』との命により見舞金五圓を今二十二日軍事後援會へ又市內新川町鈴木貞雄氏は金十五圓を同後援會へ寄附

井上氏寄附。。。。。市內五丁目井上貞治郎氏は社會事業資金として金二十圓を市社會課へ

傷ましい二青年
天刑の咎に泣いて 市役所の同情に縋る

傷ましきボヘミアン。漂浪の天刑病者にかかつて少からず手古摺つて居る市役所ではその都度社會課の手により當面の苦惱を癒やす若干の藥代を惠んでは、當てどもない彼らの行先?に退去せしめてゐるが今二十二日も朝から早々と形影悲落の二青年が蝕ばまれ行く身体を市役所玄關に現したので社會課では平常通り差當りの施しをして歸らせた

この二人は南秋田縣船川港町生れ藤村三郎(二五)福井縣南條郡今庄村生れ柿岡三郎(三)で以前にも同所の同情にすがつた事があり、其後各地を放浪し再び廻り來つたものである

三曲演奏會
軍事後援會寄附

日曜タマルトモで 平軍事後援會では銃後の運動資金を得る爲め、明後二十四日午後五時から市內四丁目マルトモホールに於て演奏會を催すと

酒喜屋改築

市內田町そば屋酒喜家では將來の飛躍を期して店舖の改築に着手したが其間世界館前(元明雲堂跡)の假營業所に於て平常通り營業すると

羊毛三百頭分を納入
來月、平市で現地賣買

戰時體制下に於ける軍需羊毛資源充實のため本縣緬羊組合聯合會では羊毛の共同處理を實施、陸軍省千住製絨所に納入する、自家用を除き全部統制出荷せしめる方針の下に來月十一日平四圃體事務所で濱三郡下分を檢査出荷することゝなつたが郡下の納入羊毛は三百頭分に上る見込みである

出稼漁夫の斡旋に
青森から乘り込む
中村屬ら漁業家と懇談

石城各地のアグリ漁に漁夫は青森縣だけでも每年小名濱に百五十名乃至二百名も來てゐるがこれらはみな青森縣廳內出稼保護組合の斡旋によるもので同組合では今年中の契約其他のため中村屬外二名を派し、一行は二十二日來平、平職業紹介所神長會書記の案內で小名濱町に向ひ漁業家と會見種々協議するところあつた、終つて同組合斡旋の就勞漁夫の慰問激勵や漁港を視察引き上げた

陣中を聽く
(140)

內地の勤務に比べ
一寸勝手元が違ふ
平驛員 山崎宗之助君(通信)

ー渡滿に際しては親も及ばぬ御心痛を煩はし實に〈御禮の言葉もなく只感泣致し居り候二月七日無事任地北安驛に到着致し、實に北滿の第一線と云ふべき地にて(略)大に微力乍ら頑張る事を任地にて最初より念願致し居り候。何分にも大半が滿人相手なる故內地の樣なる厳格は扨て措き、唯々運行に欠ざる樣專一致す故、何んだか突然に氣が抜けたる樣な氣分に驅られ居る樣な一寸氣ぬけの感に打たれ居り候、併し乍ら斯樣なるものなると思ひ候へばそれとて勤めに充分自信を以て出來得る事を思ひ居り候。內地とは全然生活樣式を異に致し、時折珍らしきのやまた不便も感じ候得共國防の第一線に出る覺悟に充分緊張致し相勤め居り候 只今當驛は哈爾賓鐵道局管內に於て主要驛にて日人も三十名居り小生は新入社員の指導訓練を致し仕事も實に面白く過ごし居り候。尙は現在北支方面の派遣員多く人員も最低人員にて勤務致し居る位なるが內地鐵道より見れば尙々幼稚にて充分なる自信を持ち得られ(略)感謝致し居り候

話に盡せぬ
元入山從業員 小島信君

自分も上陸以來過去百有餘日惡戰苦鬪の中に過ごしました、とても話には盡くせません、私等が一番困つたのは飲料水で敵死体の澤山入つて居るクリークの水で顏や手や御飯を洗つたり飲んだりした珍風景は戰地ならでは味はれません又一本の煙草を十二三名で喫つた事もあります カタパン一袋で一日を過した日も何日もありました然し百折不撓の成つて北支の野に明朗政府の成立した事を銃後の皆樣と共に喜んで居ります然し吾々の犧牲者護國の勇士を考ふる時只々涙が新に落ちてまゐります、地下三尺に眠る勇士一目開いて北南支の現狀を見て貰ひ度い樣です此の人達の慰靈祭も終り當地も朝夕ラッパの音が市內の靜寂を破つてひびきます。

全國農會技術員會議

來月十三、四の兩日第五回全國農會技術員大會が東京四谷區日本青年館に開かれるので郡農會では各町村農會技術員に通知、出欠を取纏めてゐる、意見發表(一人十分以內)希望者は二十八日迄に決定する筈 同大會は第一日目が協議、二日間は新宿御苑拜觀、新議事堂參觀の豫定になつてゐる

男女工募集

廣島市宇品町錦華人絹會社廣島工場から平、湯本兩職業紹介所に男女工の斡旋申込みがあつた、資格待遇左の如く二十五日午前十時から原町小學校で採用試驗が行はれる

(男工)滿十六歲以上三十二、三歲迄、八十五錢乃至一圓二十錢、八時間勤務

(女工)滿十二歲以上三十歲迄、五十六錢以上外に勤務手當あり、九時間勤務夜業なし

給仕募集

小學卒業程度 自轉車に乘り得るもの 希望者來談あれ

磐城新聞社

衞生係改選

市內据槌小路衞生區世話係は次の諸氏に改選

本田昌幸 廣邊勘太夫 堤明 松本甚次郎 小松音次郎 遠山稻吉

市內四波の衞生區長に此程和田卯之松氏當選、衞生區世話係に左記諸氏が選ばれた

和田淸吾 下藤彌松 下藤孝一

縣下職紹長會議

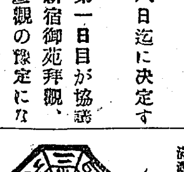
二十三日喜多方町役場に開く縣下職業紹介所長會議に平紹介所から四家所長、市原書記出席

衣類泥漁夫送檢

豊間村鹽谷町漁夫(一九)は去る七日江名町北町金成喜重さん方漁夫小屋から高橋長次郎さん所有の衣類十七點を盜んだ外衣類專門に隣近から百三十圓分を失敬、入質費消した事發覺、平署から今二十二日身柄送檢された、同人は起訴猶豫二回ある

二十二日 (小名濱測候所發表)

滿潮 前八、〇五 後 ―
干潮 前三、三〇 後四、三〇



舊三月二十三日 土曜 乙酉 先勝 執 觜宿 新四月二十三日

▲一白 順を守れば天ひんの官ろくは自から授かるべし▲二黑 功名榮達期して待つべし開店名弘就職皆吉▲三碧 自重せざれば凶事見舞はれて苦むことあり▲四綠 和合をかくときは破めつを來たす注意日たり▲五黃 高く上る時は八方より應の誘ひに遂ふべし▲六白 りふ〳〵のあせより生れし利得の現はるゝ大吉日▲七赤 不遇は自ら招くこと多し油斷は大てきと知れ▲八白 刻々と發展し行く幸運日新き商業尤も吉し▲九紫 凶運なれども勉め次第にて禍に取り付くべし

廣告

明い電球は 銃後の護り
國產 トウランプ

西東會社の新商品 石鹼 齒刷子 齒磨 連鎖店にあり

おみやげには
見不知羊羹(柿羊羹)
潮の華
電話六六八 平五 泉屋

毛糸編物、毛メリヤス、モスリン、セル、オーバー、人絹ショール、本ネル、毛布子供服婦人服、背廣等のお洗濯に……
特許新洗劑 モノゲン
特約店 定價 二〇 三五
二丁目 中野洋品店
同 堀藥局
只今 四丁目 關口藥局
各地宣傳中 田町 ハシモトヤ糸店

▲新纖維には●新洗劑▼
ス・フは決して弱くない
被服國策の折柄、ス・フ強制混用に依り、御家庭婦人は其の洗濯に就いて大いに考へねばなりません。ス・フは決して弱くないが水に濡れると、強さが著しく減つて伸び易く彈力が乏しく、なりますから揉み洗ひは絶對禁物です。又染色も他に比べると多少は弱い氣味ですが其の洗ひ方と其の洗濯劑の御選定が正しければ完全に御洗濯出來ます
ス・フにモノゲンが何故良いか
モノゲンは高級アルコールから出來た特許新洗劑で、石鹼とは全然製法や組成を異にし、その性質は中性(アルカリ性でも酸性でもない)で生地を傷める事なく、只水に浸した丈で落ちる樣な染色でない限り落ちの心配なく美しく洗へ、更に強い滲透力と相まつて、短時間にお洗濯の目的を達しますから、ごしごし揉み洗ひをする必要なく、ス・フ織物や其の混用品の御洗濯には理想的です
モノゲン 漬けて十分間揉まずに落ちる

◎社員招聘
一、外務員 若干名
(イ)年令二十五歲以上五十才以下ノ男子ニシテ身體強健、身元確實、努力ノ人
(ロ)希望者ハ履歷書持參來社ノコト
(ハ)給料、手當其ノ他面談
右業務擴張ノ爲メ銓衡招聘ス
營業科目 公債、債券、現物賣買 金融
平市 鍛治町十八番地 日本商事株式會社平支部 電話七三六番

假營業所御知らせ
今般店舖改築の爲當分の間世界館前(元明雲堂)にて營業仕り候間從前通り御贔負相成度御願申上候
生そば 酒喜家 驛前 電話一七一番